

運動に主体的に関わる児童の育成

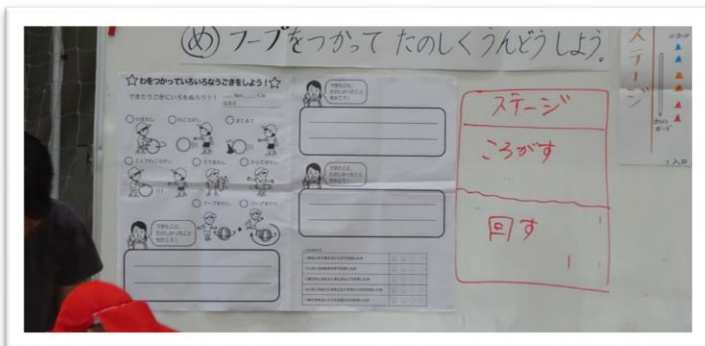
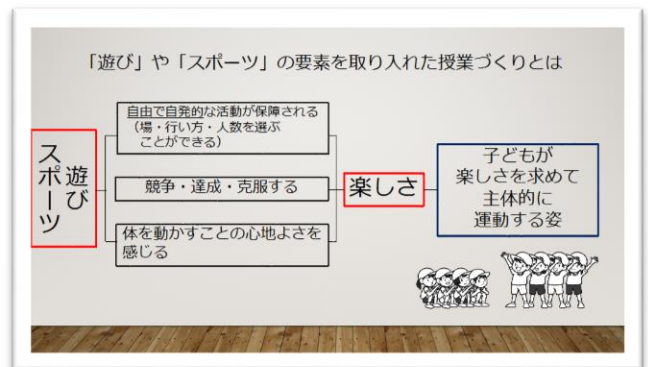
～体づくり運動の学習を通して～
伊万里市立二里小学校



「遊び」や「スポーツ」の要素を取り入れた 授業づくりと実践

本校では、主体的に運動に関わろうとする児童の育成を目指し、運動の楽しさを味わわせるような授業づくりについての研究をしています。

児童が夢中になって運動に取り組むうちに、結果として、様々な動きを身に付けたり、もっと楽しくできないか工夫したりすることをねらいとし、児童の「もっとやりたい!」という気持ちが高まるような学習活動を仕組んでいます。



学習の進め方の提示

児童が学習の見通しをもつことで、めあてを具体的に設定することができるようにしています。体育科の学習の進め方として、児童にも教師にも「めあて→活動→振り返り」といった授業の組み立て方が定着しつつあります。

学習の環境整備

用具や場の種類や数を十分に用意し、選ぶことができるようにしたことで、どの児童も主体的に運動に取り組む姿が見られるようになってきました。



6年間を見通した学習計画

単元計画や指導計画を立て、「体づくり運動」を明確に位置づけることで、発達段階を考えながら系統立てた指導ができるようになってきています。

